

第18期(2016年3月期) 決算のご説明

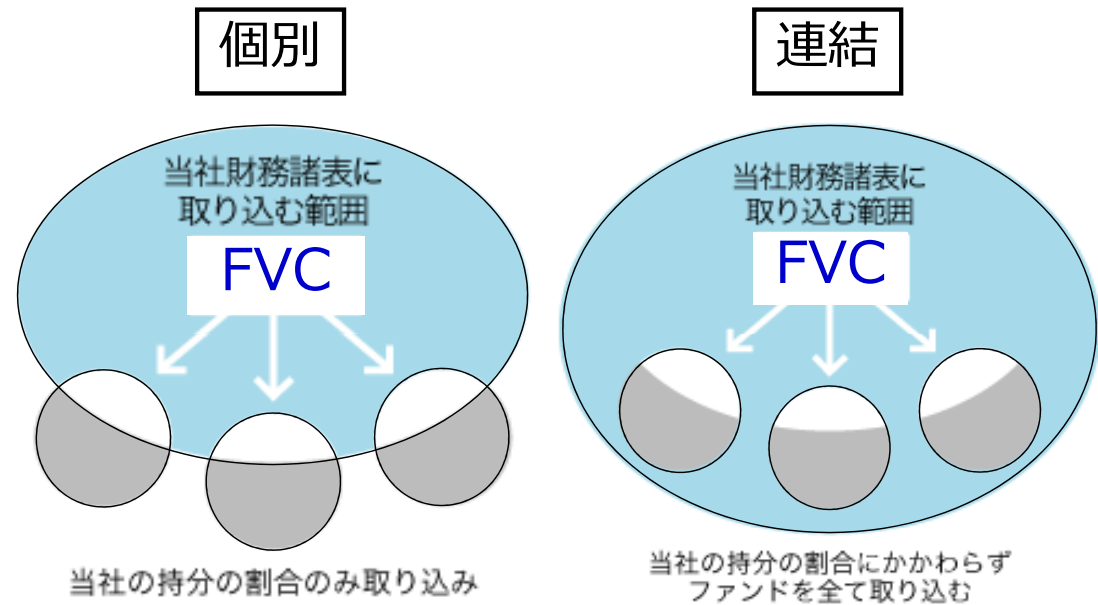
フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(JASDAQスタンダード, 証券コード8462)

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



本資料の数値は、特に指定がない限り
すべて2016年3月末現在のものです。

当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に投資事業組合の当社持分のみを連結した個別決算数値を記載しております。



投資事業組合の運用総額に占める当社持分の割合25.9%

<連結決算の場合>

- 連結貸借対照表
 - ・ 自己資本比率が低下
- 連結損益計算書
 - ・ 営業投資有価証券にかかる損益が増幅
 - ・ 投資事業組合等管理収入が内部取引とみなされ、相殺消去（管理報酬等）

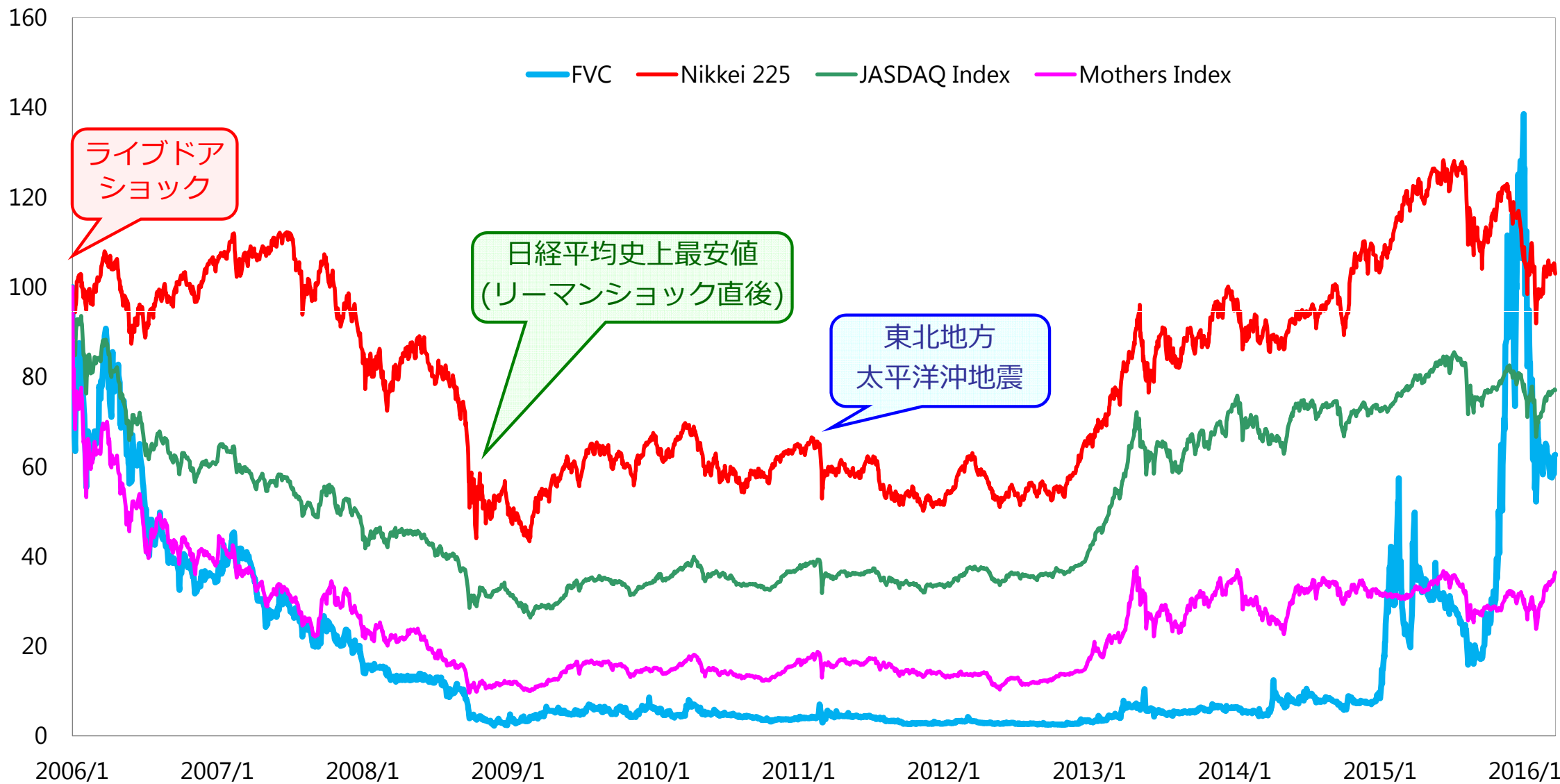
1.	株式市場環境	…	P.4
2.	2016年3月期決算説明	…	P.10
3.	主な取り組み	…	P.18
4.	第三者割当による新株予約権発行	…	P.23
	【参考】会社概要		

株式市場環境

1.1. 株式市場の状況(1)

ライブドアショックによる新興市場へのインパクトはいまなお大きい

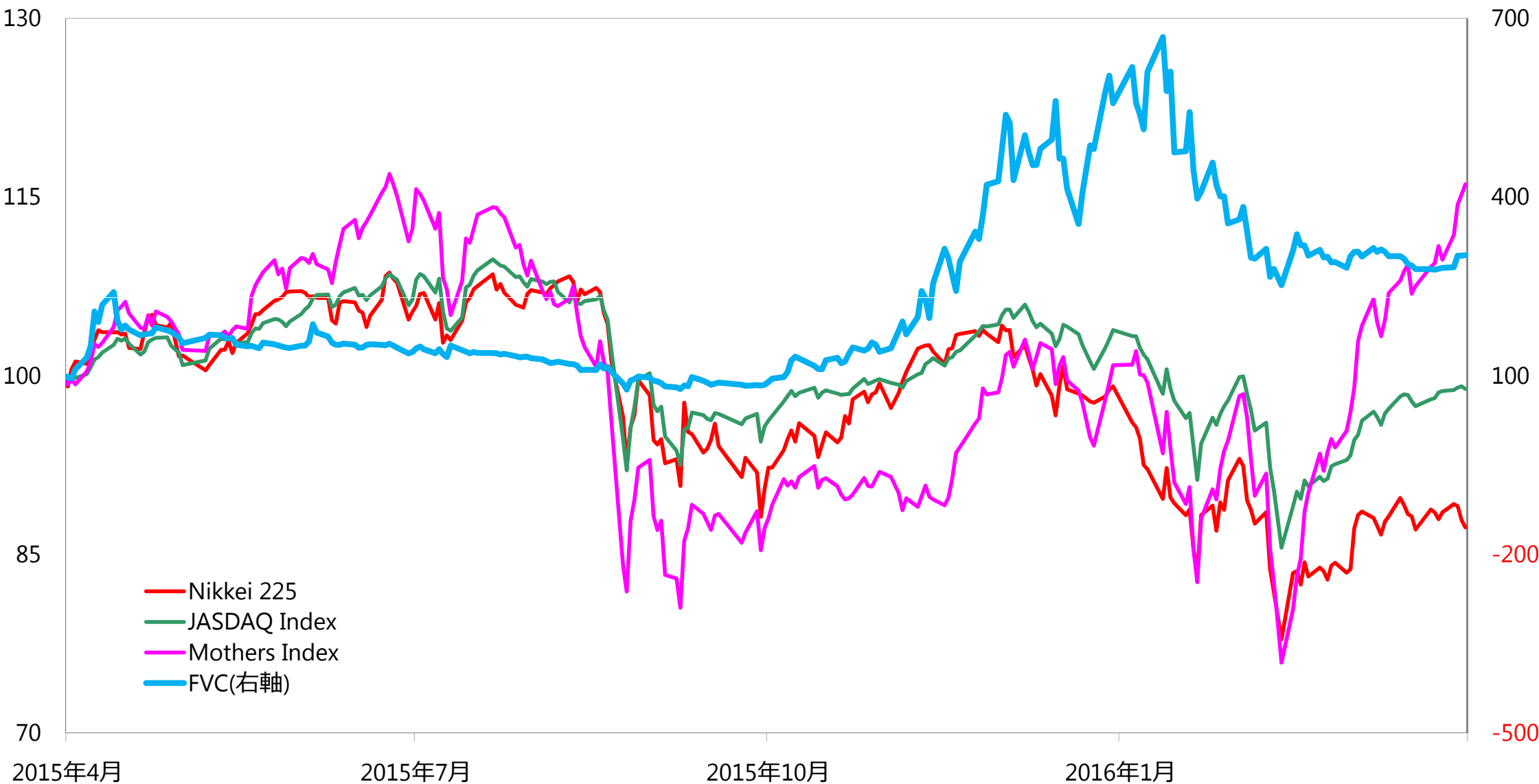
2006年1月16日を100とする指数

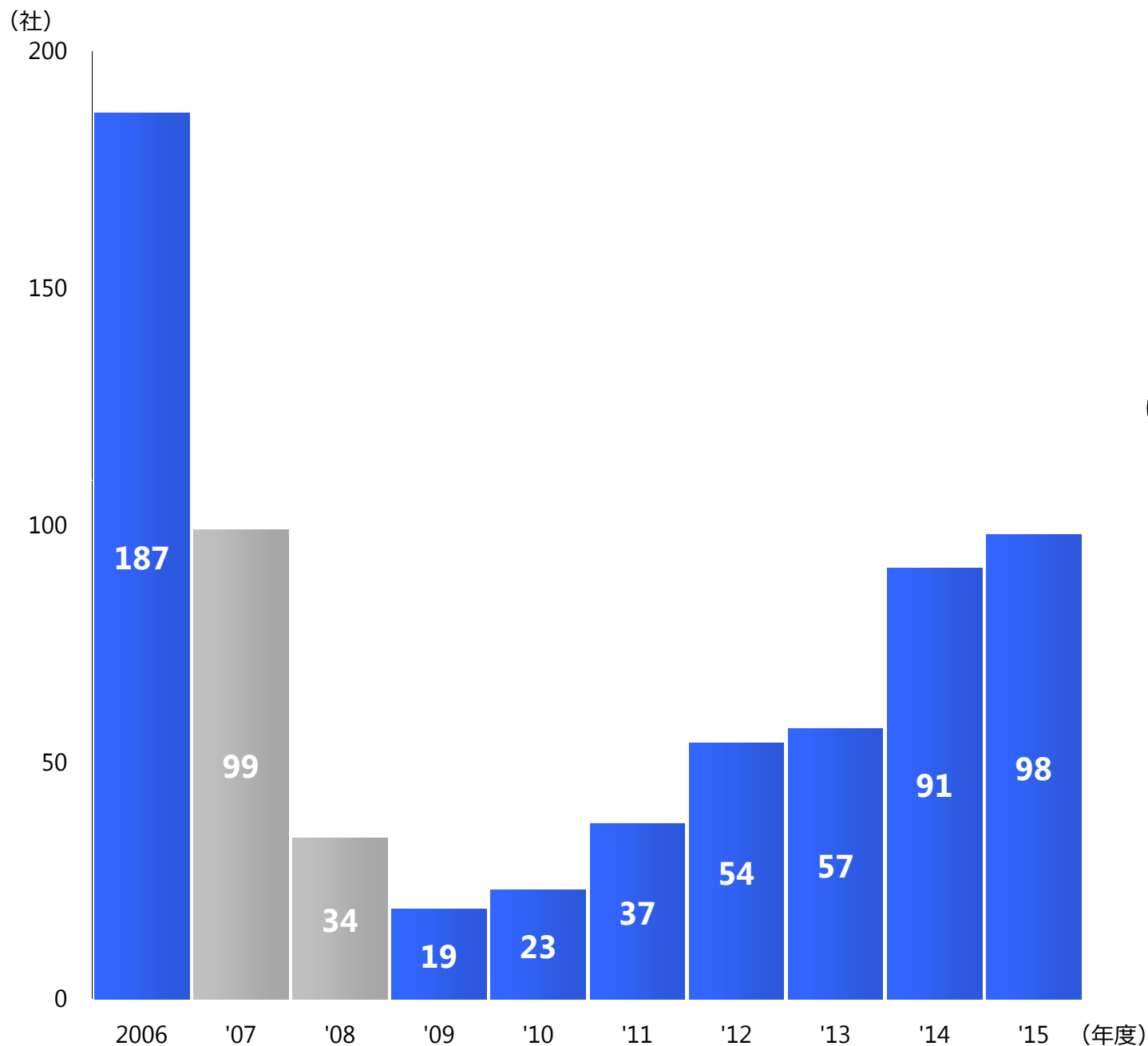


1.2. 株式市場の状況(2)

相場(各Indexは左軸)は大きく上下
当社株価(右軸)は2015年初以来激動

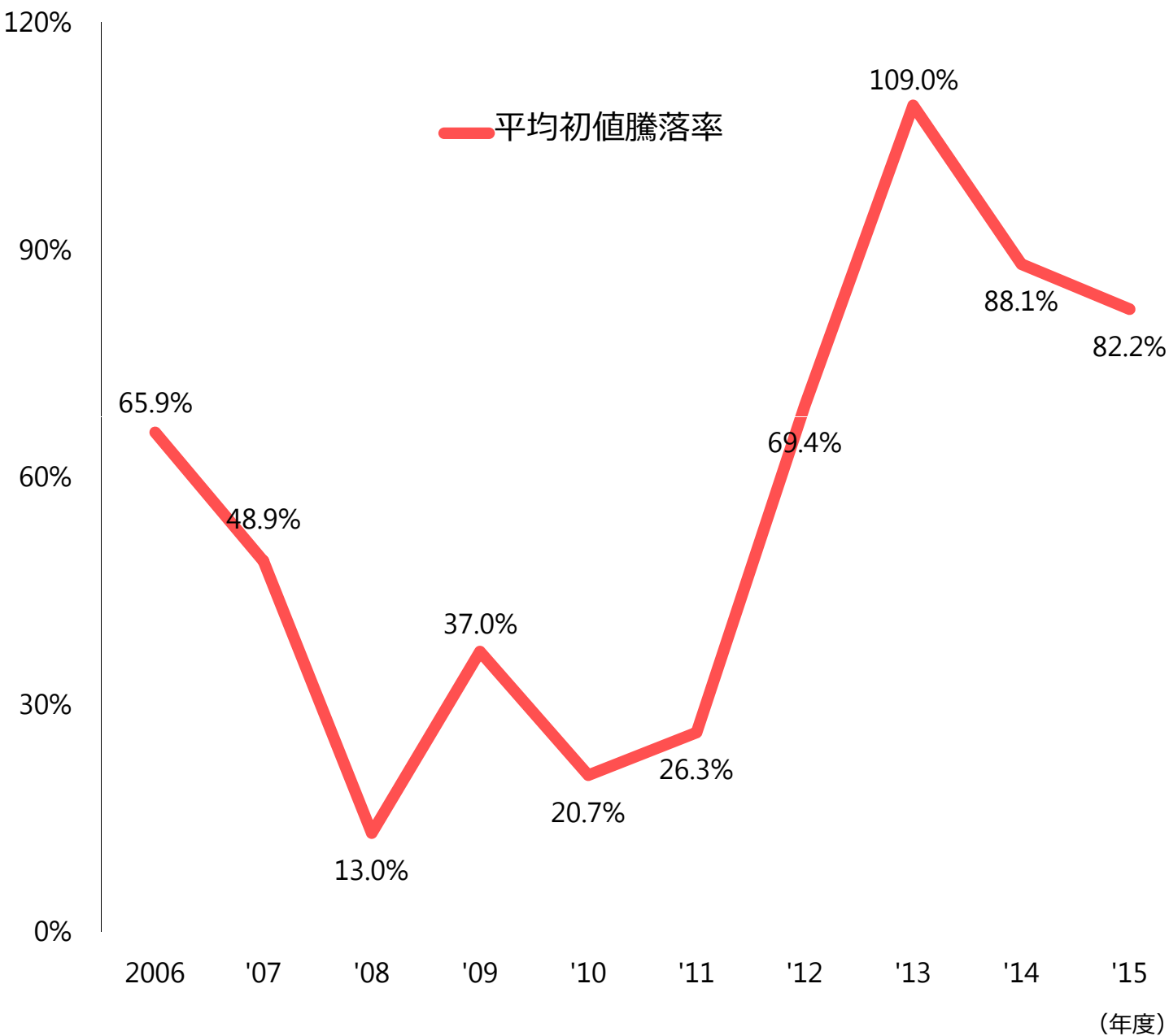
2015年3月31日を100とする指数





新規上場社数

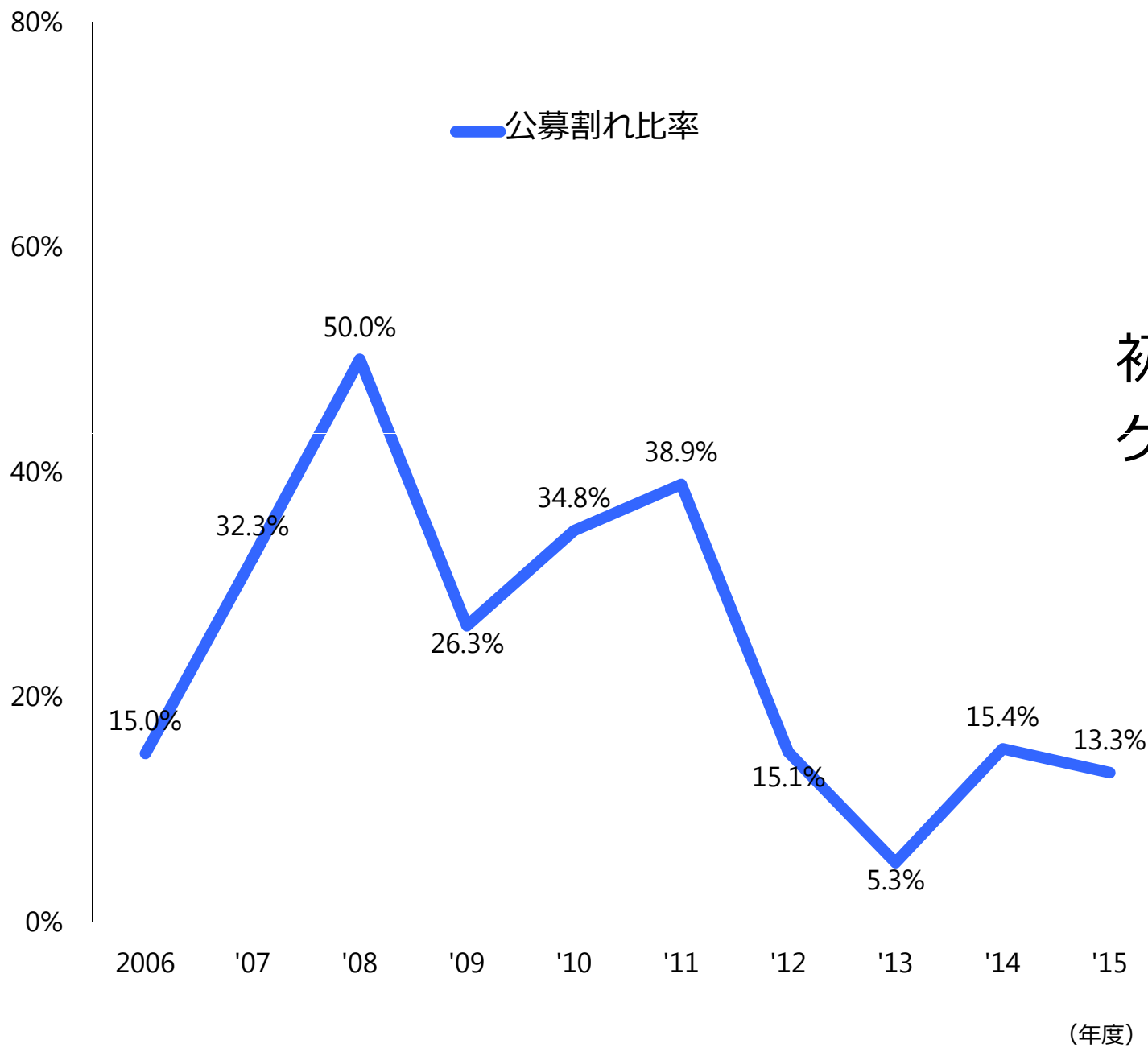
6年連続増加したものの
9年連続100社に満たず



新規上場市場

案件による選別が進むものの、初値は公募価格のほぼ倍の水準

初値騰落率：
$$\left\{ \frac{\text{初値} - \text{公募価格}}{\text{公募価格}} \right\} \times 100 (\%)$$



新規上場市場

初値が公募価格を下回る
ケースは依然少ない

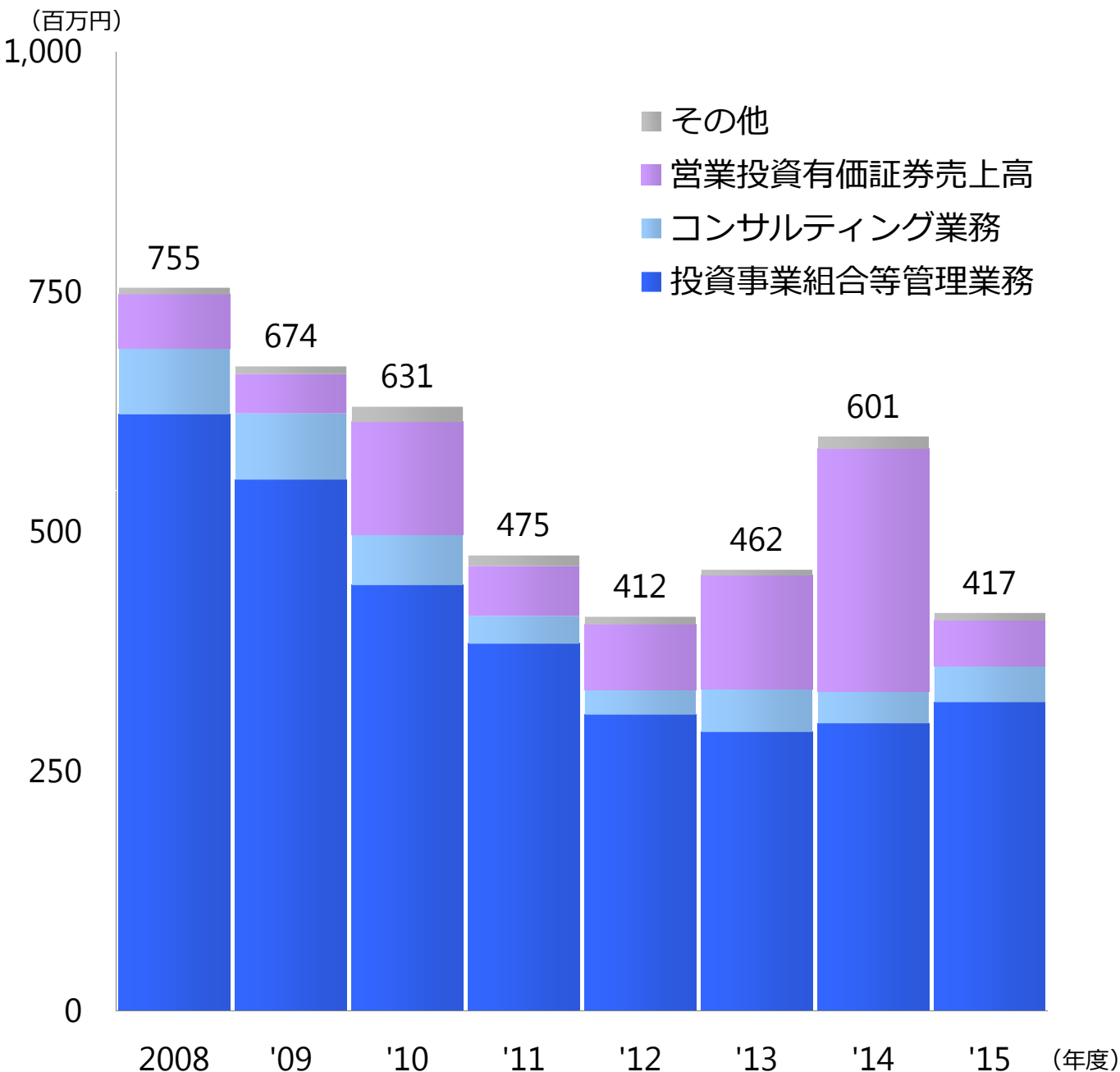
※公募割れ比率：
新規上場企業のうち、初値が公募価格を下回った企業の比率

2016年3月期 決算説明

2.1. 決算概要

ジェイエスエス持分売却の反動により売上高は減少したものの、成功報酬の計上等により2006年3月期以来10期ぶりの営業黒字

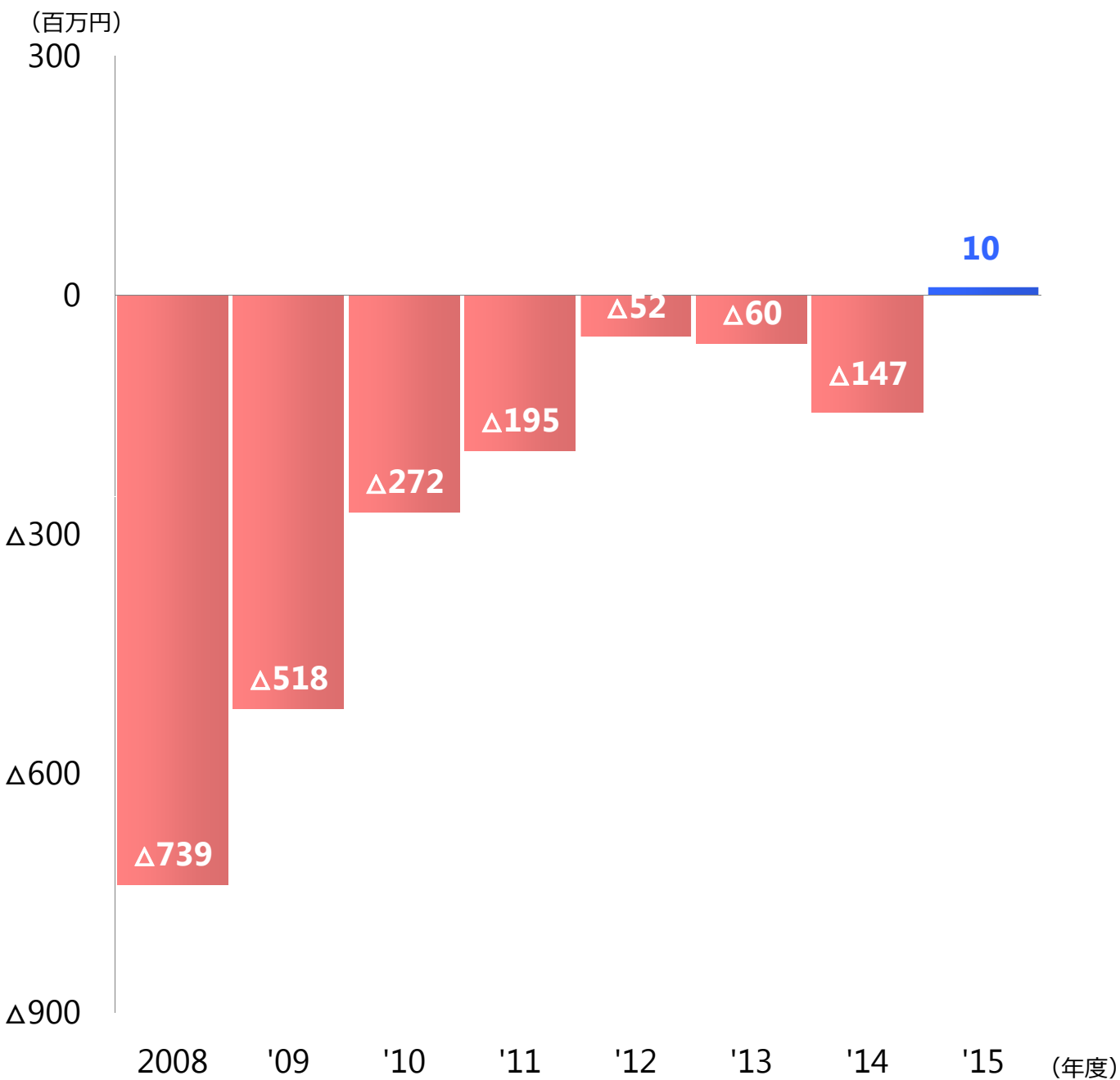
単位：百万円	第16期 2014年3月期	第17期 2015年3月期	第18期 2016年3月期	対前期比
売上高	462	601	417	△183
営業損益	△60	△147	10	157
経常損益	△86	△173	△ 11	162
当期純損益	△94	△182	△ 21	161
純資産	196	102	782	679
総資産	1,154	878	1,419	541
自己資本比率	15.8%	11.3%	54.9%	43.6



売上高

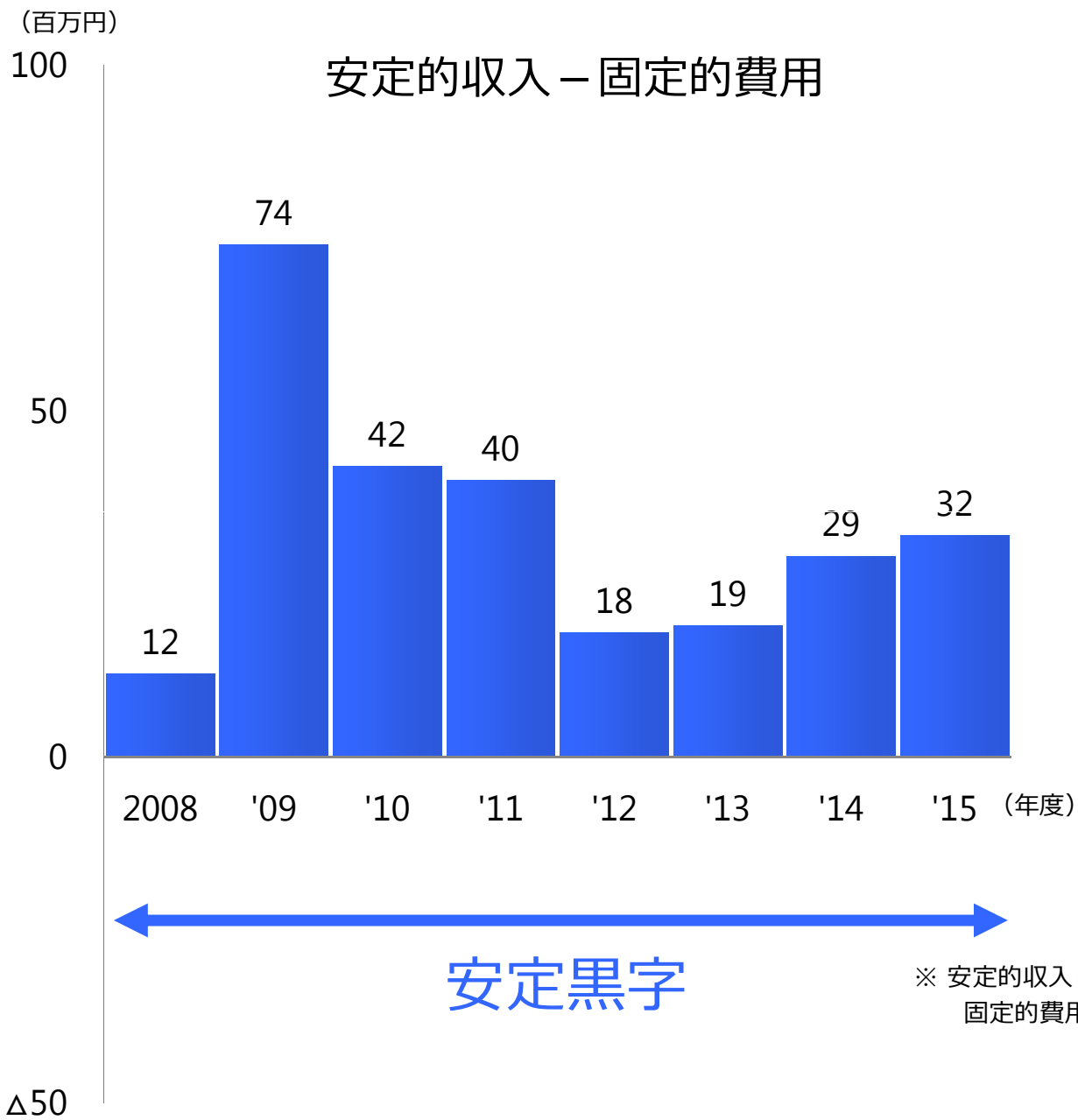
ジェイエスエス持分売却に伴う
営業投資有価証券売上高増加の
反動で前年同期比減収も、成功報酬
44百万円の計上等により
投資事業組合等管理業務収入は増加

2.3. 営業損益推移



営業損益

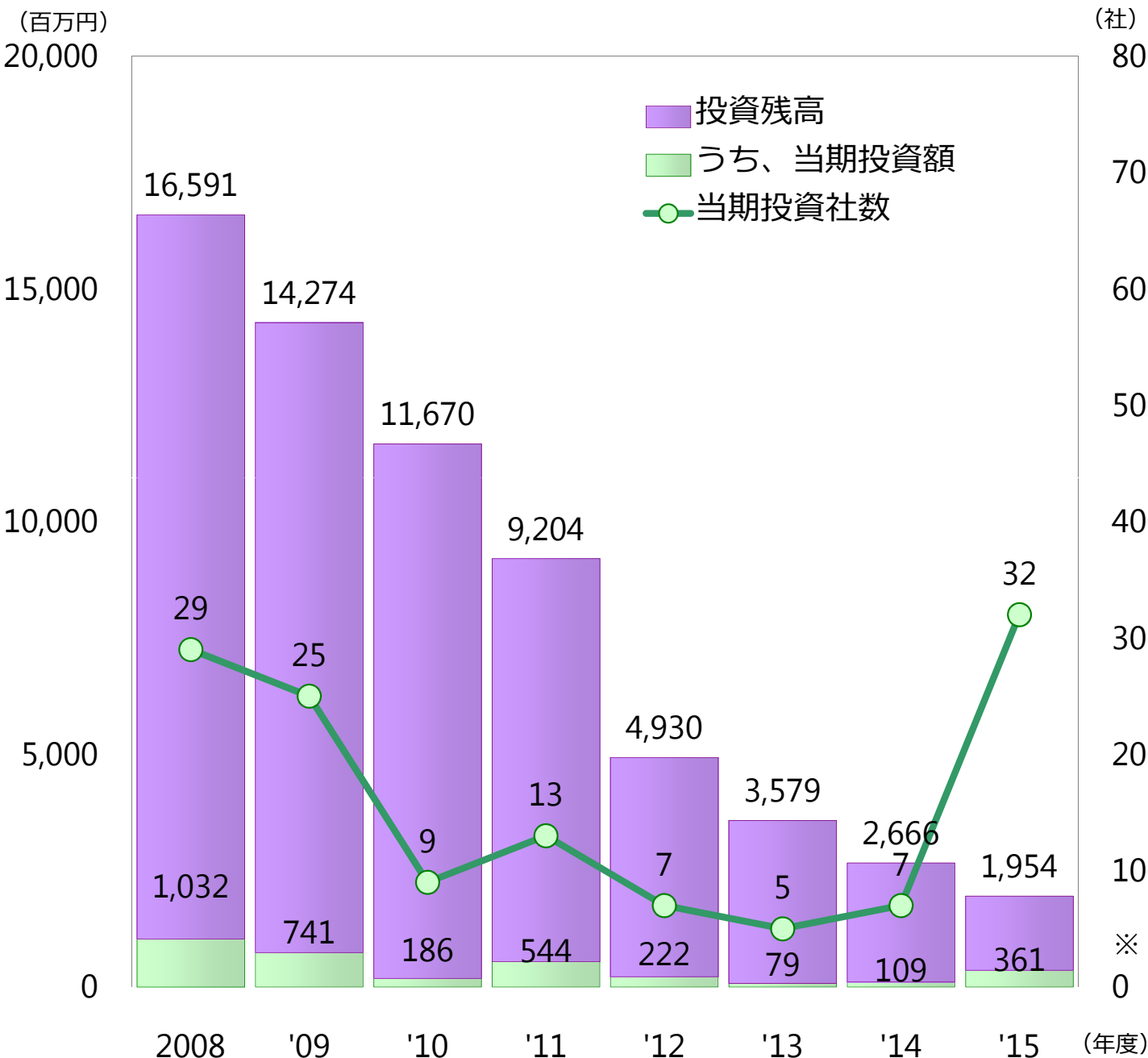
2006年3月期以来、
10期ぶりの営業黒字



安定的収入と固定的費用

2007年度にバランスを大きく崩したものの、
経費削減を進めて
2008年度以降は安定黒字

※ 安定的収入 = 投資事業組合等管理収入 + コンサルティング収入
固定的費用 = 販売費および一般管理費 + 売上原価 (営業部門における活動経費)



投資活動

売却活動の推進により
2007年度をピークに
残高が減少傾向にあった
が、新設ファンドの増加
により投資社数/額が
増加に転じる

※ 連結対象の投資事業組合すべてを含んだ数値を記載

株式会社 中村超硬



さかいベンチャー育成ファンドからの新規上場

項目	内容
上場日	2015年6月24日
上場市場	東証マザーズ
本社所在地	大阪府堺市
事業概要	電子材料スライス周辺事業、 特殊精密機器事業、 化学繊維用紡糸ノズル事業
投資時点 株価	1,000円※分割考慮後
上場初値	1,901円
上場初値 投資倍率	1.9倍



上場時の売出、上場後の市場売却により、
ファンド持分50百万円を94百万円で売却

株式会社クレストック

地域ファンド投資企業

上場日 : 2015年7月8日
上場市場 : 東証JASDAQスタンダード
本社所在地 : 静岡県浜松市



事業概要 : 各種マニュアルの制作、ドキュメントソリューションの提供

しずおかベンチャー育成ファンドからの新規上場

投資時点
株価

400円 ⇒

上場初値 1,751円

上場初値
投資倍率

4.4倍

※分割考慮後

上場時の売出、上場後の市場売却により、ファンド持分100百万円を357百万円で売却

主な取り組み

1. 大企業と中小・ベンチャー企業間における連携支援

- CVCファンド設立
- 外部パートナーとの提携

2. ベンチャーキャピタル事業の更なる強化

- IPOに依存しないファンドモデル創出
- 地域課題を解決する手段へ

3. 新たな収益源の獲得

- 新規事業による収益源の多様化



●CVCファンド

2014年6月 **ブリッジベンチャーファンド2014**を300百万円で新設

2015年6月 **ウィルグループファンド**を300百万円で新設
ウィルグループ(東証一部)から受託

2015年11月 **フェニックスファンド**を300百万円で新設
フジミインコーポレーテッド(東証一部)から受託

今後も同様の取り組みを継続

●外部パートナーとの連携

2015年5月 **ゼロワンブースター**と業務提携し、オープンイノベーションプロセスを
一気通貫にサポートするCVC連動型アクセラレータープログラムを提供

●企業間連携システム

2014年10月 より"**sohatsu online**" を運営 (<https://sohatsu.asia/>)
事業会社のニーズとベンチャー企業のシーズを効果的に結びつけ
新規事業を創出するプラットフォームに



- IPOに依存しないファンドモデル創出
- 地域課題を解決する手段へ

2015年8月 **事業承継センター**と業務提携し、投資ファンドを活用した事業承継支援手法の開発・強化を実施

2015年10月 秋田信用金庫、自治体と共同で**あきた創業ファンド**を100百万円で新設
秋田広域都市圏の創業活発化を目的として設立
もりおか、おおさかの先行事例同様、投資の出口として上場を前提としない起業支援ファンド

2015年10月 秋田県信用組合と共同で**秋田元気創生ファンド**を200百万円で新設

2015年10月 いわき信用組合と共同で**磐城国地域振興ファンド**を300百万円で新設

2015年12月 第一勧業信用組合と共同で**かんしん未来ファンド**を300百万円で新設

上記3ファンドは全国信用協同組合連合会の出資、支援を得て運用を行うもの
投資の出口として上場を前提としない、地域のエクイティ支援ニーズに応える新たなファンドモデル

2016年4月 **京都市スタートアップ支援ファンド**を210百万円で新設

京都市内のベンチャー支援を目的として市内2金庫と共同で設立
組合員の他京都市等と連携して運営を行う起業支援ファンド

● 新規事業による収益源の多様化

2016年4月 盛岡市産業支援センターの指定管理者に指定
岩手事務所を同センター内に移転し、**事務所兼インキュベーション施設**として運営を開始

2016年4月 ファンド運營業務と異なる収益軸の確保を目的とし、**経営戦略部**を新設
リソースの外部調達を含め活動領域の拡大を推進



第三者割当による新株予約権発行

- 資金調達の目的(当初)

新規ファンド組成による**収益基盤の獲得及び資本増強**

調達資金の大半は**新規設立ファンドへの出資に充当**し、中長期的な企業価値向上の源泉に一方で2015年3月期末時点で99百万円まで目減りした**自己資本の増強**もにらむ

- 資金調達の状況

発行した新株予約権全70個が2015年中に行使され、840,000株を発行、**700百万円を調達**

- 直近の状況

ファンドの営業進捗が想定に及ばず、調達した資金の一部を営業体制の強化に充当するよう方針転換

- 会社名 : フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 (FVC)
- 設立年月日 : 1998年9月11日
- 資本金 : 2,416百万円
- 発行済株式総数 : 7,104,600株
- 株式上場市場 : JASDAQ市場 (8462)
- 所在地 : 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地 烏丸中央ビル
- 従業員数 : 22名
- 事業内容 : 未上場企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など

